



テーマ「よりよい学校や人間関係をつくる児童会活動」

日立市立久慈小学校

1 はじめに

(1) ねらい

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、児童がよりよい自分自身と学級・学校生活、人間関係をつくる活動の実践。

(2) 久慈小学校の児童会の組織について

久慈小学校では6つの委員会があり、委員会ごとに学校行事の運営を行ったり、強化月間や強化週間の設定・運営を行い実践することで、児童の思いを反映し実現する児童会活動を展開できるようにしている。



2 今年度実施した主な実践内容

(1) 主な取り組み

7月に創立149周年を祝う創立記念集会を実施した。集会では、**【創立記念集会の様子】**本校の卒業生であり、高校時代に夏の甲子園で全国制覇を経験した宮田竜一郎さんを講師にお招きし、貴重なお話をいただいた。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、1年生と2年生はリモート形式で会に参加した。企画では「全校玉入れ」を実施し、全学年が一丸となって勝利を目指して玉入れを行った。他学年の児童を応援する姿も多く見られ、友情の輪を広げる機会となった。



(2) 各委員会での取り組み

けやき委員会では、本校の課題を話し合い、その課題を解決するための呼びかけとして「〇〇5・7・5運動」を呼びかけ、廊下の右側歩行や丁寧な言動を呼びかける俳句を作成した。昇降口に掲示したり給食の時間に放送で呼びかけたりすることで、児童たちの行動の改善に繋がっている。また俳句は、全校児童から募集したものを採用しており、全員で学校をよくしていこうとする気持ちを高めている。ほかにも、毎学期末に実施している「清掃強調週間」では、給食保健委員会が中心となり、普段の清掃場所以外に重点清掃箇所を決めて清掃に取り組むことで、きれいな校舎を大切に使いいこうとする気持ちを高める活動も行っている。図書委員会では、秋の読書月間の際、決められた冊数以上本を借りた児童はくじ引きができ、オリジナルしおりやもう一冊借りられる券を配布するなどの活動を行い、読書活動の推進も行っている。

3 成果と課題

感染症対策を行った上で、学校行事や児童会活動、委員会活動を実施することができている。今後は、児童数の減少から高学年児童や担当の負担が大きくなってきていることも踏まえ、規模を縮小したり、内容を精選したりしながら今後の特別活動を機能させていきたい。また、来年度創立150周年を迎えるにあたり、久慈小学校の良さや伝統が今後にも引き継がれていくような内容を検討していきたい。



【俳句による呼びかけ】